

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

脳動脈瘤術後経過観察を目的とした高解像度コーンビーム CT における動注造影と静注造影画像の比較		
1. 研究の対象および研究対象期間 2024 年 1 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日に昭和医科大学藤が丘病院、脳神経外科で静脈穿刺によるコーンビーム CT を撮影した患者さん・動脈穿刺によるコーンビーム CT を撮影した患者さん		
2. 研究目的・方法 脳動脈瘤やワイドネック型脳動脈瘤の治療では、治療後の経過をしっかりと確認するために、鮮明な画像を撮影できる「コーンビーム CT」という検査が必要です。 これまで、コーンビーム CT では、脳血管内にカテーテル（細い管）を挿入して撮影していましたが、今回の研究では、腕の静脈から造影剤を注入して撮影する方法との画像を比較し、腕の静脈からの方法がどれくらい役立つのかを調べます。 評価方法は、撮影した画像から専用ソフトを用いて信号の強さやコントラスト（画像の明瞭さ）を数値で測定します。また、医師が画像を実際に見て、診断に使える画像かどうかを評価します。		
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者さん情報（性別、年齢、留置デバイスの種類、動脈瘤の形態・サイズ、撮影日、撮影画像）		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません		
6. 研究組織 研究責任者 昭和医科大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻 渡邊裕之		

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部

氏名：高橋拓也

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-974-6230